



ISO14001 認証取得



Certificate No. AJA06/10094

## 東埼玉資源環境組合

### 構成団体

越谷市 草加市 八潮市  
三郷市 吉川市 松伏町

### 今号の主な内容

- ・人事行政の運営状況……………2
- ・9月組合議会開催……………2
- ・入札参加追加登録申請……………2
- ・リユースまつり開催……………3
- ・エコスクール 吉川市立北谷小…3
- ・元日展望台公開……………4
- ・田んぼアート収穫祭……………4

- 第一工場 〒343-0011 越谷市増林三丁目2番地1 計画課：☎048-966-0121 資源エネルギー課：☎048-966-0123  
FAX. 048-965-6569 総務課：☎048-966-0122
- 第二工場 〒340-0001 草加市柿木町107番地1 資源リサイクル課 } ☎048-936-1251 (代表)  
FAX. 048-931-5206 建設準備室
- ホームページアドレス <http://www.reuse.or.jp/> ●発行 東埼玉資源環境組合 ●編集 計画課

# 『ごみを減らせば、飛灰も減ります!!』

## ごみの量は年々減っていますが、放射性セシウムのためピットが満杯状態です。 ～ごみの分別・リサイクルを進めてさらなる減量を!!～

福島第一原子力発電所の事故により、組合に搬入されるごみからも放射性物質が検出されています。ごみの焼却処分により発生する飛灰が、現在受入を停止されているため、第一工場に一時保管しています。

また、毎年実施する焼却炉のオーバーホール工事において、放射能の作業環境測定などを追加したため、焼却炉の停止期間が長くなり、ごみピット残量が10,000トン(通常は4,000トン程度)を超えています。

飛灰の一時保管場所が足りない! ごみピットが満杯!  
ごみの分別・リサイクルをして、ごみの減量をお願いします。



ごみピット

ごみの山は、投入口より高い!!



工場内通路

飛灰とはろ過集じん機などで捕集した排ガスに含まれるダスト(ばいじん)であり、埋め立て処分される



堆肥化施設  
ストックヤード

第一工場の  
保管場所は満杯に!!

### 可燃ごみの処理状況



7月8日焼却灰、スラグの放射性物質を測定した結果、飛灰の放射性セシウム濃度は、環境省の定める埋立て処分可能な数値8,000ベクレル/kgを下回っています。

焼却施設から発生する飛灰などは、秋田県内の最終処分場が7月14日から受入れを全面的に停止したため、工場内に一時保管して対応しています。飛灰の排出量は、焼却残渣(燃えかす)全体の約40%で、年間約11,000トンであり、9月末では約2,000トンの飛灰が一時保管されています。

現在、飛灰などの受入れ再開の見込みが立っていない状況で、工場内の一時保管できるスペースも限界に近付いています。秋田県内の最終処分場の受入れの再開を要望すると共に、他の処分場への搬出も始めております。

#### ◆問合せ先

第一工場 資源エネルギー課 ☎048-966-0123

### 放射性物質測定結果一覧表

7月1日から適時放射性物質等の測定を行い、その結果につきましては、随時ホームページに公開しています。

資料採取日	施設 検体 (単位)	第一工場				堆肥化施設		
		飛灰 (Bq/kg)	主灰 (Bq/kg)	スラグ (Bq/kg)	排ガス (Bq/miN)	せん定枝 (Bq/kg)	刈り草 (Bq/kg)	たい肥 (Bq/kg)
7月1日		-	-	-	-	-	8,240	不検出
7月8日		3,400	750	330	-	1,040	5,110	-
8月8日		2,800	680	290	-	-	-	-
8月25~29日		-	-	-	不検出	-	-	-
9月8日		2,500	720	199	-	-	-	-

測定の数値は、セシウム134とセシウム137の合計  
ヨウ素131は、すべて検出されていない  
販売中のたい肥は、3月11日以前の枝・草から製造しています

### 枝・草の処理状況



3月11日以降に堆肥化施設に搬入されたせん定枝と刈り草について、7月1日および7月8日放射性物質を測定しました。

農林水産省が定める基準値は200ベクレル/kgであり、測定結果はその基準を超えたため、搬入された枝・草をたい肥の原料として使用できなくなりました。その後に搬入される枝・草についても、早々に放射性物質が減少する見込みが明確でないため、7月25日からすべての搬入を中止しています。

#### ◆問合せ先

第二工場 資源リサイクル課 ☎048-936-1251



# 人事行政の運営等の状況をお知らせします

平成22年度の東埼玉資源環境組合人事行政の運営等の状況について公表いたします。なお、詳細につきましては、組合のホームページに掲載を予定しております。

## 1 職員の任免及び職員数に関する状況

平成23年4月1日現在、職員は45人で、そのうち副課長相当以上の管理職員は10人です。また、平成23年4月1日現在、再任用常時勤務職員は1人で、再任用短時間勤務職員は12人です。  
平成22年度中の退職者は6人でした。

## 2 職員の給与の状況

### (1)職員給与費の状況(平成22年度、再任用職員を除く)

職員数(A)	給与費				一人あたり給与費(B/A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	合計(B)	
48人	210,400千円	39,231千円	82,134千円	331,765千円	6,912千円

### (2)職員の平均給料月額及び平均年齢の状況(平成23年4月1日現在、再任用職員を除く)

区分	一般行政職	現業職
平均給料月額	376,963円	307,511円
平均年齢	48歳	43歳

### (3)職員手当の種類(平成23年4月現在)

職員手当の種類	内容
扶養手当、住居手当、特殊勤務手当、管理職手当、通勤手当、期末・勤勉手当、退職手当(埼玉県市町村総合事務組合から同組合条例に基づき支給)、地域手当、超過勤務手当	

## 3 職員の勤務時間その他の勤務条件の状況(平成22年度、再任用職員を除く)

職員の勤務時間は、1週間当たり週38時間45分と定められており、月曜日から金曜日までの勤務となっております。  
平成22年4月1日から平成23年3月31日までの年次休暇の平均取得日数は、13.7日です。  
平成22年度における職員1人当たりの時間外勤務(超過勤務)の月平均時間は、4.7時間、年平均時間は、56.6時間です。

休暇の種類	内容
年次休暇、結婚休暇、産前産後休暇、子の看護休暇、妻の出産補助休暇、男性職員の育児参加のための休暇、生理休暇、忌引休暇、ボランティア休暇、夏季特別休暇、病気休暇、組合休暇、その他の特別休暇	

## 4 職員の分限及び懲戒処分等の状況

平成22年度において、分限処分として休職処分を受けた者は2人で、これは、地方公務員法第28条第2項第1号「心身の故障のため、長期の休養を要する場合」を適用したものです。  
なお、懲戒処分を受けた者はありません。

## 5 職員の服務の状況

平成22年4月1日から平成23年3月31日までに職務専念義務免除の承認件数は18件です。

## 6 職員の研修の状況

平成22年度に実施した研修は合計で22コースあり、延べ研修人員は190人です。

## 7 職員の福祉及び利益の保護の状況

平成22年度中における公務災害の認定件数は1件でした。

## 夏休み親子スクール開催結果

ごみ減量やリサイクルについて親子で学習する「夏休み親子スクール」を開催しました。7月27日(水)午前中に行い、親子で101人の参加がありました。最初に、万代里子先生から「東日本大震災」についてお話がありました。地震のあとの津波により被災地では家が流され、生活用品がすべてごみとなりました。普段の生活をしていて私たちは、随分と無駄をしていたと感じています。「もったいない」の精神や「ものを大事に使う」ことを心がけて欲しいと訴えていました。

また、当日のテーマである「生活の中からごみを考えよう」については、まず、家のごみを調べて、グラフや図にすること。次に、どうしたらごみを減らせるか考えること。さらに、地球全体への影響を考えること。これらを1か月間続けて調べることが重要で、夏休み期間中にぜひ実践してみてください、と話されました。

最後に、今年は電力が足りないが、必要なところは使ってもよい。ただし、家では、一つの部屋で過ごすなど工夫をしてみてください。去年と比較してどれだけ電気使用量が減ったかを競う「節電コンテスト」などにも挑戦してはいかがですか?との提案がありました。

お話のあとで、プラットホームやごみピット、展望台など工場内数か所をグループに分かれて見学しました。展望台では、田んぼに稲で描かれた「ゲゲゲの鬼太郎」や鴨ねぎ鍋キャラクターの「ガーヤちゃん」などを見学しました。



工場見学

## 入札参加資格審査申請(追加申請)受付のお知らせ

平成24年度に、東埼玉資源環境組合が発注する工事の請負及び物品の納入等を希望される方の入札参加資格審査申請(追加申請)を左記提出要件に基づき受付します。

### ◆提出要件・申請書の配付

平成23年12月下旬から組合ホームページに掲載しますので、印刷してご利用ください。

### ◆受付期間・提出方法

平成24年1月11日(水)～23日(月)

必要書類を添えて郵送でご提出ください。(消印有効)

☆提出期限後の申請は受付できませんので、あらかじめご了承ください。

### ◆入札参加資格の有効期間

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

### ◆問合せ・提出先

総務課庶務係 ☎966110122

## 9月組合議会が開かれました

平成23年9月東埼玉資源環境組合議会定例会が、9月29日に開催されました。

今議会では、管理者提出4議案が上程され、審議の結果

2議案が原案可決、1議案が継続審査、1議案が同意可決

されました。なお、上程された議案及び一般質問の内容は次のとおりです。

【管理者提出議案】  
◆第4号議案  
埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び同組合の財産処分について  
..... 原案可決

◆第5号議案  
平成23年度東埼玉資源環境組合会計補正予算(第1号)について  
..... 原案可決

◆第6号議案  
平成22年度東埼玉資源環境組合会計歳入歳出決算認定について  
..... 継続審査

◆第7号議案

東埼玉資源環境組合監査委員の選任につき同意を求めるところについて..... 同意可決

### 【一般質問の内容】

1. ごみの分析調査について

2. 分担金について

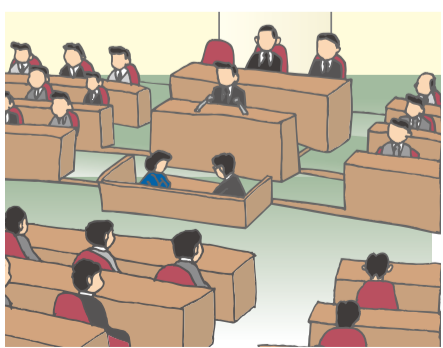
3. 循環型社会形成推進地域計画第2期について

① 第二工場の施設規模について

② ごみの発生量予測について

③ 放射性物質の影響について

④ 飛灰の受け入れについて





# 第16回 環境と情報の集い リユースまつり

11月20日(日)開催!

日時 平成23年11月20日(日) 午前10時～午後3時 (雨天実施)

会場 東埼玉資源環境組合第一工場 所在地：越谷市増林3-2-1

- 内容 ★情報提供コーナー
- ・施設の運転状況、各種測定結果の公表
- ★絵画展
- ・小学校4年生の入賞作品展示
- ★見学会
- ・ごみ処理施設の見学
  - ・展望台(地上80メートル)を公開
- ★お楽しみコーナー
- ・啓発遊具「ふわふわカンガルー」
  - ・ポニーの乗馬、小動物と遊ぼう
  - ・ミニSL、新幹線の乗車
  - ・紙すき体験 ・大道芸
  - ・参加19団体による趣向を凝らした催しもの
- ★無料配布コーナー
- ・ヘリウムガス風船、苗木
- ★リユース展
- ・粗大ごみの中から活用できる家具類を有料で販売

組合では、「循環型社会の形成と3Rの推進を目指して」をテーマに、今年も「環境と情報の集い」を開催します。  
楽しい企画をたくさん用意して、皆様のご来場をお待ちしています。

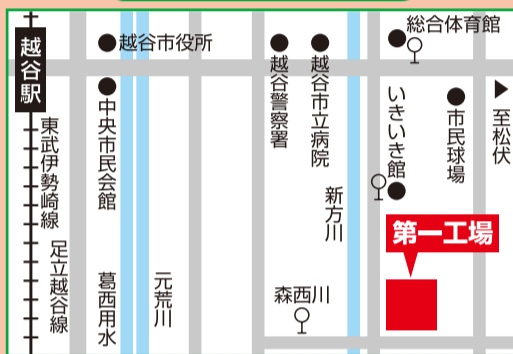


昨年の様子(大道芸)

問合せ 東埼玉資源環境組合 計画課 ☎966-0121

お願い 駐車場が狭いため、なるべく電車やバスなどの公共交通機関をご利用ください

### 第一工場案内図



#### <アクセス>

- 東武伊勢崎線越谷駅東口にて朝日バス・「総合公園・増林地区センター行」に乗車。約9分乗車し、「総合体育館前」で下車し、徒歩8分。
- 東武伊勢崎線越谷駅東口にて朝日バス・「いきいき館行」に乗車。約10分乗車し、「いきいき館」で下車し、徒歩5分。
- JR武蔵野線・南越谷駅南口にてタローズバスに乗車。約14分乗車し、「総合体育館前」で下車し、徒歩8分。
- JR武蔵野線・越谷レイクタウン駅北口にてタローズバスに乗車。約7分乗車し、「森西川」で下車し、徒歩6分。

学校の敷地内にビオトープがあります。プール清掃でみつけたギンヤンマなどのやごを池に入れて観察を続けました。何匹

は、園芸委員会が中心となって野菜を育てています。小松菜やじゃがいも、白菜など種や苗を植えて、収穫できるまで大事に育てます。また、学年の畑や鉢を利用して、1年生はあさがお、2年生はなす、トマトなどの野菜、3年生はひまわり、4年生はへちま、5年生はバケツ稲、6年生はじゃがいも、なかよし学級とひまわり学級は野菜を植えています。どの学年も花や野菜を自分たちの手で育てています。2年生はさつまいもを収穫して、お芋パーティー(1年生との交流会)を開きます。生活科や理科の学習で、植物の成長の過程を観察しています。あさがおの種は大切に取っておいて、次の学年が蒔いて花を咲かせます。



学校ファームでの学習



ビオトープ(魚の観察)

飛ぶトンボをみて、児童の環境への関心と命を尊ぶ気持ちが高まりました。また、近くを流れる大場川のフナやタナゴなどの稚魚をビオトープで育てています。初めは小さかった魚も今では大きくなり、泳ぐ姿もはつきりみえます。「大きくなったね。これはメダカ、これはフナ、これはなに?調べてみよう。」そんな児童の声がよく聞かれます。身近な生き物を大切に作る気持ちが培われています。



ギンヤンマの羽化

### ① みどりの学校ファームと学年の畑の活用

吉川市立北谷小学校(松村文雄校長、児童数547人)は、周囲を水田や畑に囲まれた緑豊かな環境の中にある学校です。学校の敷地内には、「やすらぎの森」や「ビオトープ」、「みどりの学校ファーム」、「学年の畑」などがあり、屋上には太陽光パネルが設置されています。児童は、学習や遊びを通して自然を身近に感じることが出来ます。土にふれ、花や野菜を育て、昆虫や魚を観察することを通して、児童の豊かな心を育てる環境教育を進めています。

感動いっぱい! 夢いっぱい!  
豊かな心をはぐくむ環境教育  
吉川市立北谷小学校

越谷市内の先生3人が、当組合の仕事について平成23年8月11日、12日の2日間、職場体験しました。  
研修参加者は、組合各課・室の事業内容学習や第一・第二工場、最終処分場などの施設を見学しました。  
研修参加者は、「蒸気タービン発電や溶融スラグの利用など資源を有効に活用する仕組みには感心した」「私たちの最も身近にあって意外に知らないごみについて、収集・処理・その後について学ぶことができて、教室を通して広めていきたい」「ごみが資源となつて他のものにリサイクルされ、このような施設がしつ

### 小中学校の先生が職場体験

かり整えられている日本は素晴らしいと思った」など感想を寄せていただきました。  
この体験学習が、今後の学校における心豊かな児童生徒の育成に少しでも役立つことができればと期待しています。



し尿処理施設見学



北谷小クリーン作戦

「キャップ800個で一人の命が救える!」  
児童会の活動の1つとして、ペットボトルのキャップを回収しています。学校で集めたキャップは、学校応援団の方が回収し、ワクチンや注射器などを購入するためにボランティア団体へ搬送してくれます。1学期は一万二千個余りを回収することができました。これからも、児童会の積極的な活動で、みんな

### ⑤ まとめ

児童は、植物や昆虫の種類、田畑の様子で四季を感じ、ビオトープの生き物観察により命の大切さを学んでいます。これからも、自然や環境を大切にする実践の態度を育て、児童の豊かな心をはぐくむ環境教育に努めていきます。

### ④ 全校で取り組む環境教育

全校で取り組むものとして、北谷小クリーン作戦があります。全校児童と保護者、県立高校の生徒や地域の方々と一緒に通学路のゴミ拾いや清掃などを行います。これらの活動により、児童と地域の交流が深まり、児童一人ひとりに地域の環境を守ろうとする態度が育っています。

でキャップを集めて、苦しんでいる子ども達の役に立ちたいです。



# 元日 展望台公開

## 初日の出は抽選!



東埼玉資源環境組合では、元日(1月1日)に第一工場展望台を公開します。なお、「初日の出」は抽選となります。

### ①「初日の出」特別公開 (越谷市・草加市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町住民に限る)

- ◆時間 午前6時30分～7時10分 ◆人数 250人まで(抽選)
- ◆お申込方法 **往復はがきに**、1.希望人数(4人程度まで)、2.住所、3.氏名、4.電話番号を明記の上、**12月9日(金)必着にて**、下記「往復はがき見本」のとおり、お申し込みください。申し込みはがきは、1家族1枚限り有効
- ◆結果通知 12月22日(木)頃までに返信はがきによりお知らせします。
- ◆往復はがき見本

往信	343-0011 東埼玉資源環境組合 計画課 広報係 行	越谷市増林三丁目2番地1 (なにも書かない)
返信	④ 電話番号 ③ 氏名 ② 住所 ① 希望人数(4人程度)	(申込人) 氏 名 (申込人) 住 所

### ②元日一般公開

- ◆時間 午前7時30分～午後5時(受付は午後4時30分まで)
- ◆その他 人数制限はありません。施設(工場)見学はできません。展望台だけの公開となります。
- ※会場は、越谷市増林3-2-1 東埼玉資源環境組合 第一工場展望台
- ☆問合せ先 計画課 広報係 ☎966-0121

# ごみの減量化に御協力を!

10月は、**3R**(Reduce(ごみの発生抑制)・Reuse(再利用)・Recycle(再生利用))推進月間です。

コンビニなどで、なにげなくもらう小型のレジ袋は約5～7g。もし1年間もらうのをやめたら、約300枚分、1人でも約1.5～2Kg削減できます。新しく材料から作るより、回収したアルミニウムで缶1個を生産すると、節約したエネルギーで液晶テレビを2～3時間見ることができます。お気に入りのマイバッグを持って、ごみになるレジ袋を減らす。



マイボトルの利用でちょっとお得なサービスを受け、しかもポイ捨て容器も減らす。そんなライフスタイルを楽しんでみませんか。

東埼玉資源環境組合では、レジ袋削減のため買物袋を販売しています。

## 好評販売中 エコバッグ

買物に便利な布製のバッグを販売しています。レジ袋削減のためご利用ください。

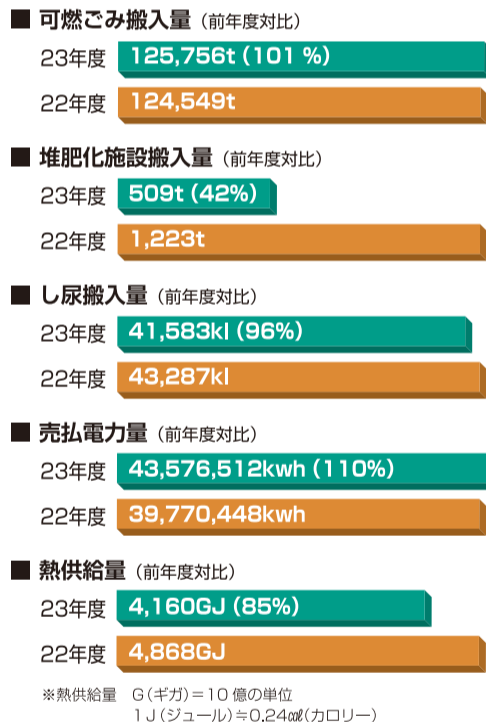
- ◆販売価格 1枚400円
- ◆大きさ タテ36cm×ヨコ46cm×底マチ14cm、ハンドル(ひも)60cm
- ◆販売場所 第一工場事務所
- ◆受付・問合せ先 計画課 ☎048-966-0121

※なお、第一工場から遠方の方や大量購入の場合はご相談ください。



## 統計データ

平成23年4月～9月実績値



リユース花だより

コスモス(越谷市内の畑で)

### ◎問合せ先 資源リサイクル課 ☎966-11251

- ◆販売日 毎週月曜日・火曜日(祝日を除く) 午前9時30分～11時30分 午後2時～4時
- ◆販売対象 越谷市・草加市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町住民
- ◆価格 堆肥10kgあたり100円
- ◆販売場所 第一工場 堆肥化施設 越谷市増林三丁目2番地1
- ◆販売日 毎週月曜日・火曜日(祝日を除く) 午前9時30分～11時30分 午後2時～4時
- ◆販売対象 越谷市・草加市・八潮市・三郷市・吉川市・松伏町住民
- ◆価格 堆肥10kgあたり100円
- ◆販売場所 第一工場 堆肥化施設 越谷市増林三丁目2番地1

### ●堆肥の販売について

堆肥を販売しています。現在販売しているものは、福島第一原子力発電所事故の後に生産したもので、放射性物質は検出されておりません。また、せん定枝・刈り草の受入れを中止しているため、無くなり、刈り草の受入れを中止していただく場合があります。

### ●せん定枝・刈り草の受入れ中止について

せん定枝・刈り草の中から高めの放射性セシウムが検出されましたので、原料として適さないため、せん定枝・刈り草の受入れを中止しています。

## 「たしがや田んぼアート2011」の稲刈り

10月2日(日)に「たしがや田んぼアート2011」事業の収穫祭がありました。この事業は、越谷市観光協会が越谷市農業協同組合、越谷市グリーンクラブ、越谷市測量設計業協同組合などと実行委員会を結成し、市民に農業への理解を深めてもらい、新たな観光資源として地域活性化を促進することを目的に、昨年からはじめられたものです。

5月22日に植えた6種類の古代米やコシヒカリの稲刈りについては、田植えや8月27日に行われた虫追い体験者などで行われたものです。

刈り取りした稲は、精米してから後日参加者に配られる予定になっています。

今後は、リユースまつりや産業フェスタなどで事業PRをします。



「たしがや田んぼアート2011」稲刈り

## 〈中学生社会体験チャレンジ事業〉中学生が職場体験しました

越谷市立大相模中学校2年生の生徒5人が、9月8日、9日の2日間、当組合の職場体験をしました。この事業は、「越谷市中学生社会体験チャレンジ事業」と呼ばれ、生徒が社会に出て実際に働くことを経験し、社会性や自立心を養い、たくましく生きる力を育む目的で実施された事業です。

生徒は、ごみ焼却や発電施設の仕組みを学んだり、最終処分場の見学や第一工場内を清掃作業したりと真剣に取り組んでいました。参加した生徒は、「リユースは、草や木の枝をたい肥にしたり、ごみを燃やした熱エネルギーを利用して発電していたりと環境にやさしい工場である」と感想を話していました。



最終処分場見学

**ちよつと一言**

最近「絆」という言葉を耳にすることが多くなったように思います。この「絆」という意味を辞書で調べてみると、「人と人との強い結びつき」と書いてあります。結びつくという事は、一方だけが引く張つてもできません。両方から同じような力で引く張つて初めて結ばれます。このことは、どんな組織にも言えることだと思えます。誰か一人だけが一生懸命やってもどうにもなりません。みんな力を合わせることで、より良い環境ができるようになると思います。(ひ)

越谷市	329,032人	138,557世帯
草加市	244,070人	106,619世帯
八潮市	83,114人	34,606世帯
三郷市	133,467人	55,915世帯
吉川市	66,977人	25,358世帯
松伏町	31,263人	11,392世帯
合計	887,923人	372,447世帯



(平成23年9月1日現在)

## 管内人口